


一年生の かん字の 書きとり

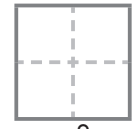
①

月

日

◎  に あてはまる かん字を 書きましょう。

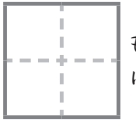
① シヤベルで にわの  を ほる。


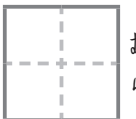
② いろいろな  形 ^{かたち} を した。

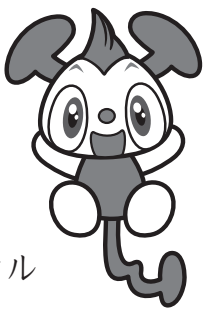
③ 海 ^{うみ} で  がらを ひろう。

④ 草むらから  の 声 ^{こえ} が 聞 ^き こえる。

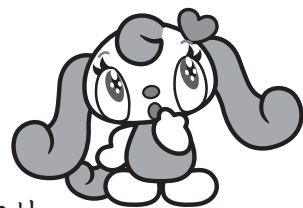
⑤  の 中 ^{なかに} に つづく 道 ^{みち} 。

⑥ 大きな  に かこまれた みずうみ。

⑦ ぼくが  の となりの  。



イーマル



ミルマリ

一年生の かん字の 読み

①

月

日

◎ ——— の かん字の 読みがなを ひらがなで 書きましょう。

① 新しい^{あたら}年^{ねん}が はじまる。



② 四月^{しがつ}から、ぼくは 二年^{にねん}生^{せい}に なった。

③ 休日^{きゅうじつ}は、ぜんぶ 合^あわせて 三日^{さんじつ}間^{かん} ある。

④ 早朝^{ちようちよう}から さん歩^{さんぽ}に 出^でかける。

⑤ 雨^{あめ}が やんだら、空^{そら}に 天^{あま}の川^{がわ}が 見^みえた。



イワンコ

⑥ 春^{はる}の 気^きはいを かんじる。

⑦ 雨^{あめ}天^{てん}でも サツカ^{サッカー}ー大^{たい}会^{かい}を 行^{おこな}います。

3

まる(○)と点(・)のつかい方

月

日

1

つぎの文の に 丸(○)か 点(・)を入れて、正しい文のように しましょう。

新しい ^{あたら} クラスの たんにんの 先生は いつも にここに

して いて とても やさしいです だから

わたしは 先生が 大きいです

2

つぎの文が 読みやすく なるように 点(・)を一つ 入れましょう。

① ともだちと サッカーを するのは とても 楽しい。

② 紙に ^{かみ} 書いて ^か かん字の れんしゅうを する。




③ 天気が よいので 公園へ ^{こうえん} 花見に 行きます。


一年生の かん字の 書きとり


②

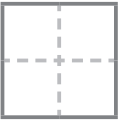
月

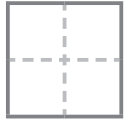
日

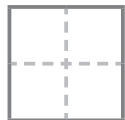
◎  に あてはまる かん字を 書きましよう。

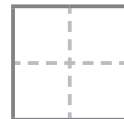
① 町の  じん こう が ふえる。

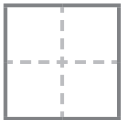
② 今月 こんげつ の  もく ひようを きめる。

③ ぞうの  みみ は 大きい。

④ バスの  しゅ うんてん に なりたい。

⑤ お兄 にい さんは、  あし が とても はやい。

⑥ かさを  た げんかん に てて おく。

⑦ みんなで  ちから を あ 合わせよう。



月

日

◎ ——— の かん字の 読みがなを ひらがなで 書きましよう。

① 火山が もくもくと けむりを 上げる。



② 田うえの じゅんびを する。

③ 空のはこに、ジュースの 空きびんを 入れる。

④ 花だんに たねを まく。

⑤ 竹林が 風で ゆれて いる。

⑥ にわの ざっ草を とる。




⑦ すずしい 木かげで ひと休みする。



一年生の かん字の 書きとり


③


月

日


◎  に あてはまる かん字を 書きましょう。

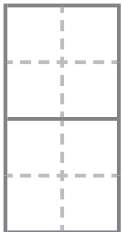
① ないしよ話ばなしに 聞ききを  みみ を  た てる。

② ねこの  て も かりたいほど いそがしい。

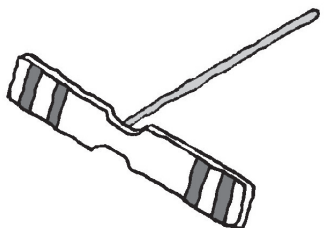
③ ぼくは  た し算ざんが とくいだ。

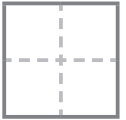


④ まつりで、たいへんな  ひと で だ。

⑤ にわに  くさ ばな を うえる。

⑥ お父とうさんと  たけ とんぼを 作るつく。



⑦  こ がらしが ふく きせつ。

単語とじゅつ語

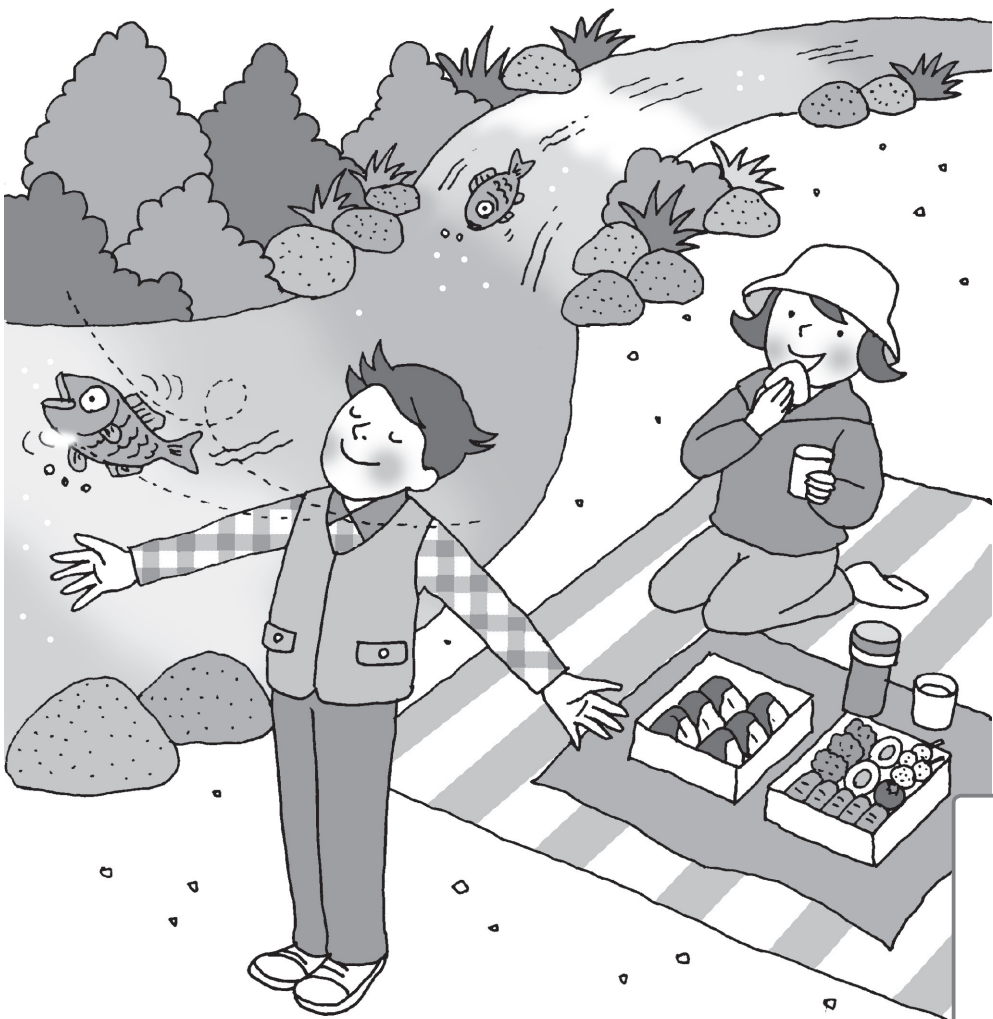
月

日

◎ 絵を見て、に入るじゅつ語を
 〔〕の中か
 らえらんで書きましょう。

① 風かぜが

② 川のみづが



③ 魚さかなが

④ おべんとうが

およぐ
 ながれる
 すずしい
 おいしそうだ

